

～～第8012回～～

赤岳

～H28. 9. 10-11～

第1日目 静岡を6時出発。美濃戸赤岳山荘前に9:00に着く。南沢コース登山口から9:40登る。樹林帯を沢沿いに右岸左岸を繰り返す。先月の夏山と違って蒸し暑くないので快調に進む。2時間程行くと大きな河原に出て、その先の行者小屋からの賑やかな人声がこだましている。カラフルな格好の人混みを掻き分けてベンチを確保し昼食をとる。おでんがこの小屋の名物らしく好調に売れていた。今晚泊まる赤岳展望荘が、そびえ立つ赤岳の稜線に小さく見え、その展望荘にヘリコプターが何度も往復して我々の今夜の食材とビールの生樽を運んでいると想像する。ここから急登の始まりで、樹林帯を抜けると一層傾斜がきつくなる。鎖場と梯子の連続となり、稜線に出る手前は絶壁にへばりついて登った。何とか予定通り15:00に展望荘に着き、横岳の奥に昨年までに登頂した硫黄岳・天狗岳、反対側には北岳・甲斐駒、更に北アルプスや御嶽山の眺望を堪能する。生ビールを味わい17:30からバイキングの夕飯を食べ就寝した。

第2日目 4:30起床、満天の星空に感動する。富士山は雲海から出ては直ぐにまた消えてしまう。5:00朝食をとり、飲み放題のコーヒーをおかわりして赤岳山頂を目指す。ほぼ垂直の岩山で、鎖場の連続だが景色が良いので楽しい。南峰山頂へは、もう一段岩を駆け上って到達。狭いので長居は出来ない。記念撮影して阿弥陀岳に向かうが、こちらでも絶壁でロープや鎖を頼りに延々と降りる。いよいよ八ヶ岳いちと言われる阿弥陀岳のハードな岩登り。皆には、ザックをここで下して身軽になってもらってから岩場に取り付く。全行程が急斜面の岩登りで、踏み外しをしないように慎重に行動する。30分位で登り切る。こちらの山頂は平らで広く、富士山も雲の切れ間からどっしりと見えた。下りも石を落とさないように注意し、上りとのすれ違い場所を考えながらゆっくり降りる。後は文三郎尾根を下って行者小屋を経て、南沢コースで美濃戸に戻る。八ヶ岳のフィナーレとして赤岳山行を企画したのだが、逆に八ヶ岳にどっぷり魅了されてしまい、これでジ・エンドとは成りそうもない。

参加者；5名（静岡南4、静岡西1）

天候；晴

地図：八ヶ岳西部

コースタイム；美濃戸 940…行者小屋 1205-30…赤岳展望荘 1500-540…赤岳山頂 630…

阿弥陀岳 840…行者小屋 1040-1100…美濃戸 1300

記録：静岡南支部 小川



赤岳山頂から一晩泊まった赤岳展望荘を撮った写真です。
後ろの高い山が横岳で、奥に大きくえぐれた硫黄岳が見えます。
更に、その後方に双耳峰の天狗岳が見えます。



赤岳山頂から阿弥陀岳に向かって降りる所です。
岩と絶壁と鎖場・梯子の連続でした。